



アイテムカップ通信 Foot Soul vol.39

SNSで情報配信&実況中 エントリー&詳細&大会レポートはHPへ!

アイテムカップ <https://www.a-stadium.com/aidemcup/>
@a_stadium facebook.com/aidemcup @aidemcup



26都市で34大会を開催! 最高の仲間と大学生フットサルの頂点を掴め!!

[AIDEM CUP]とは…誰もが気軽に参加できるフットサルを通じて、大学生が交流できる場をつくりたい。そんな想いから、2012年にスタートした大会です。



5月25日(土) 広島大会

会場: アイフット宇品 (広島県広島市)

●優勝チーム 広島大学 総科サッカー



決勝戦は「広島大学 総科サッカー」と「広島大学 マンダング」のカードとなった。先制点を決めたのは「総科サッカー」。その後、両者一進一退の攻防が続き、1-0で後半戦へ。後半に入り「マンダング」も同点ゴールを決めた。そのまま決着はつかず、延長戦へ。延長戦、先にゴールを決めたのは「総科サッカー」。「マンダング」も同点ゴールを狙うも、無情にもホイッスルが鳴り響き、勝者は「総科サッカー」となった。

6月2日(日) 京都大会

会場: サンガフットサルパーク (京都府城陽市)

●優勝チーム 京都産業大学 原田のしもべ達



決勝戦は「京都産業大学 原田のしもべ達」と「龍谷大学 わだかまりFC」の一戦。先制点は後半「原田のしもべ達」が決めた。ゴール前のルーズボールを拾い、相手選手を振り切ったのシュートは相手ゴールのポストをかすめネットを揺らした。その後、追加点を決め2-0となるが、最後の意地を見せたい「わだかまりFC」も1点を返し反撃するも、試合終了のホイッスルが鳴り響き、2-1で「原田のしもべ達」の優勝となった。

6月8日(土) 北海道大会

会場: フットサルスタジアム蔵 (北海道札幌市)

●優勝チーム 札幌学院大学 サッカー部



「札幌学院大学 サッカー部」と「GMN」の決勝戦となった北海道大会。最初にゴールを決めたのは「札幌学院大学 サッカー部」。左足から放たれたシュートをゴレイロがセーブするもこぼれ球を決められてしまう。その後変動が無く1-0のまま後半戦へ。後半に入り、「GMN」の攻撃は進むが決定的なゴールは生まれず。そのまま点差は変わらず1-0で「札幌学院大学 サッカー部」がFINALへの切符をつかみ取った。

6月16日(日) 千葉大会

会場: フットボールコミュニティ市川浦安 (千葉県市川市)

●優勝チーム 集え理工系



昨年の覇者「千葉工業大学 #工大しか勝たん」と「集え理工系」の決勝戦は両チーム合わせて6点のゴールが決まる大会となった。「集え理工系」が先制点を取り前半終了。怒涛のゴールラッシュが生じた後半戦、「集え理工系」が追加点を挙げたが、「#工大しか勝たん」も連続ゴールを決め同点に。しかし「集え理工系」が2連続ゴールを決めた。「#工大しか勝たん」はゴールを決められず、試合終了となった。



掲載7大会 参加大学名 ※五十音順 出場選手数 **927**名 チーム数 **108**チーム 観客数 **75**名

青山学院大学、秋田県立大学、亜細亜大学、江戸川大学、愛媛大学、大阪青山大学、大阪工業大学、岡山大学、香川大学、学習院大学、神奈川大学、関西大学、関西学院大学、畿央大学、京都医療科学大学、京都産業大学、京都橘大学、敬愛大学、国士館大学、駒澤大学、埼玉大学、作新学院大学、札幌大谷大学、札幌学院大学、札幌大学、産業能率大学、芝浦工業大学、順天堂大学、尚綱学院大学、上智大学、星槎道都大学、成城大学、専修大学、大東文化大学、高崎経済大学、高松大学、玉川大学、千葉経済大学、千葉工業大学、千葉商科大学、千葉大学、中央学院大学、中央大学、筑波大学、帝京平成大学、東海大学、東京工科大学、東京国際大学、東京成徳大学、東京電機大学、東京農工大学、東京理科大学、東邦大学、東北学院大学、東北工業大学、東北大学、東洋大学、徳島文理大学、獨協大学、二松学舎大学、日本赤十字広島看護大学、日本体育大学、日本大学、広島経済大学、広島工業大学、広島修道大学、広島市立大学、広島大学、広島化学工業大学、福島大学、福山大学、文教大学、法政大学、北星学園大学、北海学園大学、北海商科大学、北海道教育大学、北海道大学、松山大学、宮城教育大学、宮城大学、武蔵大学、武蔵野大学、明治大学、目白大学、山形大学、立教大学、立正大学、立命館大学、龍谷大学、流通経済大学、麗澤大学

6月22日(土) 香川大会
会場：トキワフットドーム(香川県高松市)

●優勝チーム 広島修道大学 フットサルセカンド



「松山大学 男塾2」と「広島修道大学 フットサルセカンド」との県外決勝戦は大量ゴールの試合となった。先制点は「フットサルセカンド」が決めるも「男塾2」も同点ゴールを決め、一進一退の攻防が続き、後半戦へ突入。後半ゴールを決めたのは「男塾2」。負けじと「フットサルセカンド」も同点に追いつくも、最後の最後でカウンターからゴールを決められてしまい、3-2で「フットサルセカンド」の優勝となった。

6月29日(土) 宮城大会
会場：フットメッセ仙台長町(宮城県仙台市)

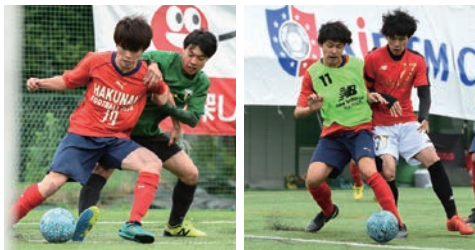
●優勝チーム 東北学院大学 Libero



「東北学院大学 Libero」と「東北学院大学 Craquel」の同門対決となった宮城大会。両チームともスピードに乗った素早い攻撃で相手ゴールを狙うもなかなかゴールを挙げることができず。しかし「Libero」は激しいディフェンスで相手にプレッシャーをかけ、相手のパスミスから生まれたチャンスで先制ゴールを決めた。後半戦に入り、両者相手ゴールに攻め込むも決定打にはならず、スコア1-0のままで「Libero」の優勝となった。

7月7日(日) 茨城大会
会場：フットサル取手(茨城県取手市)

●優勝チーム イナゴリズム



決勝戦まで失点0で勝ち上がってきた守りの「イナゴリズム」と今大会最多10得点の攻めの「ファンタジスタ」との決勝戦。決勝戦でも「イナゴリズム」の守りは健在で「ファンタジスタ」の攻撃をきっちり守り、相手パスを奪ってのカウンターで先制点を決めた。その後「ファンタジスタ」も華麗なミドルシュートを決め、後半。後半開始直後、一瞬のスキから「イナゴリズム」が決勝ゴールを決め、優勝を勝ち取った。

Media J:COM仙台キャベツさん「デイリーニュース」、Date fmさん「Morning Brush」/6月29日(土)宮城大会

J:COM仙台キャベツさん、Date fmさんが取材にお越しいただき、宮城大会の試合風景、選手のインタビュー、大会結果を放送していただきました。

また東北学院大学新聞部にもお越しいただき、定期的に発行する学内新聞の記事取材を実施。当日は選手へのインタビューや試合風景や選手の写真撮影など積極的に取材を行ってくださいました。

参加企業一覧 ※大会別 順不同・敬称略

リージョナルパートナー
 [京都大会]
 株式会社京都新聞折込サービスセンター
 [千葉大会]
 株式会社ニシカワ

見学・応援企業
 [京都大会]
 株式会社アクテック、株式会社グロップ 京都オフィス
 [北海道大会]
 一般社団法人エスポラダ北海道スポーツクラブ

[千葉大会]
 株式会社地域新聞社 市原支社

[宮城大会]
 ウオスクオーレ仙台

[茨城大会]
 ヴェリア・ジェネット株式会社
 東関東技術センター、株式会社虎昭産業

イーアイデム
 バイト探しは…
 イーアイデム大学生

学生歓迎のお仕事がいっぱい!

イーアイデムは、地元へ密着したバイトが探せる求人サイトです。あなたの条件にぴったりのお仕事が見つかるはず!

「地元」や「仕事」をテーマにした面白コンテンツも発信中! 詳細はWebサイトでチェック!!

JEJO 地元ルネサンス

逆求人型就活サイト

「企業に就活生をさがす」
 「就活生が企業へ」

JOBPASS 新卒 <https://jobpass.com/gakusei/>

企業紹介サービス

あなたに合った企業に出会える。

■厚生労働大臣許可 有料職業紹介事業 13-0-304636

JOBPASS 新卒紹介 0120-912-874
<http://shinsoutsu.smartagent.jp/>

大会管理人「中村」の蹴球コラム

今シーズンは嬉しいことに参加希望チームが多く、多数のエントリーをいただいております。しかしながら、コート予約時間などの関係で参加をお断りするケースもあり申し訳ない気持ちでいっぱいです。これだけ多くの大学生の皆様がアイデムカップを愛していただき改めて感謝申し上げます。今回は北海道大会、宮城大会から全国決勝 FINAL 出場チームが決定しています。今シーズンは【強度】のあるチームが上位進出にしていることが顕著に出ています。このコラムをご覧になっているチームの皆様も参考にしてください。各予選大会の決勝戦ムービーはアイデムカップのホームページでも見ることが出来ます。強度のあるチームの試合を見ることで皆様のチームの刺激になれば嬉しいです。これから夏本番、今年も暑い・熱いアイデムカップにしていきたいと思います!

株式会社アイデム 事業内容：総合人材サービス業
 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-4-10 アイデムカップ運営チーム

○主催：株式会社アイデム
 ○後援：公益社団法人 日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)
 ○トップパートナー：株式会社ニューバランス ジャパン
 ○リージョナルパートナー：株式会社京都新聞折込サービスセンター、株式会社ニシカワ
 ○運営・協力：株式会社ソル・メディア、スポーツマネジメント株式会社

©J.LEAGUE
AIDEM
 TOP PARTNER
 アイデムは、Jリーグを応援しています。